

# 浮魚礁漁場モニタリング調査事業

住友寿明

徳島県海部郡沖に設置した徳島県海部沖浮魚礁A（以後、浮魚礁とする）の生産効果を把握するため、平成14年度に引き続き利用状況をモニタリングした。この調査は県単独浮魚礁漁場モニタリング調査事業に基づき実施した。

## 材料と方法

浮魚礁は、平成7年3月に牟岐町出羽島灯台から144°、29.5kmの地点、北緯33°24'49"、東経134°36'30"付近（測地系はWGS84）に設置された（図1）。その構造は直径8m、高さ12m（海面上9m）の黄色鋼製塔形浮体をアンカー、ケーブル等で海面に係留したものである（図2）。平成15年4月から平成16年3月までの間、海部郡内の標本漁協に所属する漁船5隻に操業日毎の漁場、魚種毎の銘柄別漁獲量および他船の操業状況（漁協毎の操業隻数あるいは操業船の船名）の記録を依頼した。

漁獲量および漁獲金額は、標本船が浮魚礁で操業した日および時間帯以外には、他船は浮魚礁で操業しなかったという仮定の下に推計した。実際の推計にあたっては、標本船が浮魚礁へ出漁した日の他船の操業状況記録を基に浮魚礁での操業船（以後、「浮魚礁利用船」とする）を特定

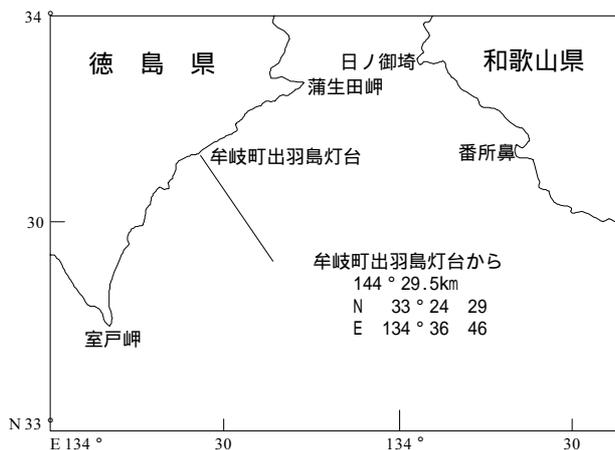


図1 浮魚礁の設置場所

し、漁協の水揚げ資料（一部、漁獲管理情報処理システムで送信されたデータ）から特定された浮魚礁利用船の水揚げを積算し、推計漁獲量および推計漁獲金額とした。ただし、他船の操業状況の欄に漁協毎の操業隻数しか記入されていない場合は、該当する漁協で当日にカツオ、クロマグロ幼魚、キハダ幼魚、メバチ、ピンナガおよびシイラ（以

下、「カツオ等」とする）の何れかを漁獲した漁船の漁獲量および漁獲金額の総和を浮魚礁利用船の隻数で案分し、それを浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額とした。

こうして得られた推計漁獲量と推計漁獲金額を標本漁協全体のカツオ等の漁獲と比較するために標本漁協の水揚げ量調査も併せておこなった。

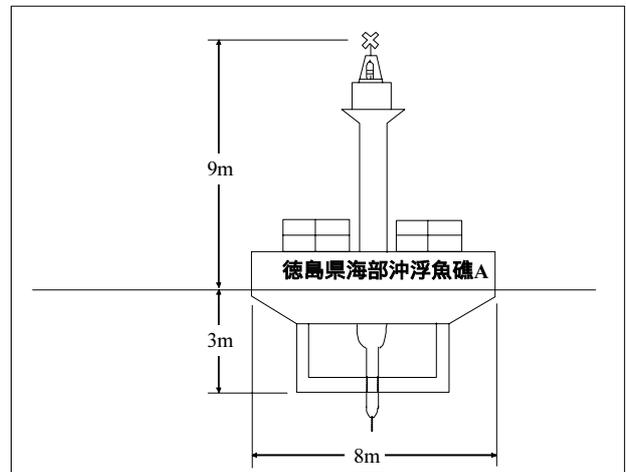


図2 浮魚礁の構造

## 結果

### 1. 標本漁協の漁獲量および金額

カツオの漁獲量は136.8トン、漁獲金額は56,141千円で、昨年度のそれぞれ61.0%、20.1%であった。

クロマグロ幼魚の漁獲量は34.2トン、漁獲金額は34,616千円で、昨年度のそれぞれ178.1%、174.1%であった。

キハダ幼魚の漁獲量は20.8トン、漁獲金額は6,016千円で、昨年度のそれぞれ59.9%、56.4%であった。

メバチの漁獲量は0.8トン、漁獲金額は368千円で、昨年度のそれぞれ200.0%、350.5%であった。

ピンナガの漁獲量は5.2トン、漁獲金額は1,012千円で、昨年度のそれぞれ152.9%、188.5%であった。

シイラの漁獲量は13.9トン、漁獲金額は876千円で、昨年度のそれぞれ119.2%、141.8%であった。

以上のように、今年度の標本漁協における漁獲量は、カツオとキハダ幼魚以外の魚種で昨年度を上回った。

## 2. 浮魚礁における推計漁獲量および推計漁獲金額

標本船調査から推計された標本漁協の浮魚礁における年度別推計漁獲量を表1に、年度別推計漁獲金額を表2に示した。

カツオの推計漁獲量は2,428kg、推計漁獲金額は1,688千円で、平年（1995年から2002年までの平均値、以下同じ）のそれぞれ48.8%、63.1%であった。また、標本漁協全体のカツオの漁獲量および漁獲金額に占める、浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額の比は、それぞれ1.8%、3.0%であった。

クロマグロ幼魚の推計漁獲量は74kg、推計漁獲金額は191千円で、平年のそれぞれ8.7%、19.9%であった。また、標本漁協全体のクロマグロ幼魚の漁獲量および漁獲金額に占める、浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額の比は、それぞれ0.2%、0.6%であった。

キハダ幼魚の推計漁獲量は2,710kg、推計漁獲金額は1,357千円で、平年のそれぞれ108.1%、125.9%であっ

た。また、標本漁協全体のキハダ幼魚の漁獲量および漁獲金額に占める、浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額の比は、それぞれ13.0%、22.6%であった。

メバチの推計漁獲量は10kg、推計漁獲金額は4千円で、平年のそれぞれ111.1%、100.0%であった。また、標本漁協全体のメバチの漁獲量および漁獲金額に占める、浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額の比は、それぞれ1.3%、1.1%であった。

ピンナガは浮魚礁での漁獲が無かったと推測された。

シイラの推計漁獲量は1,559kg、推計漁獲金額は183千円で、平年のそれぞれ111.8%、112.3%であった。また、標本漁協全体のシイラの漁獲量および漁獲金額に占める、浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額の比は、それぞれ11.2%、20.9%であった。

平成15年度における標本漁協でのカツオ等の漁獲は、昨年度に比べ不漁であったが、浮魚礁での漁獲は昨年を上回った。

表1 浮魚礁における年度別推計漁獲量（kg）

年度	カツオ	クロマグロ 幼魚	キハダ 幼魚	メバチ	ピンナガ	シイラ	その他	計
H7年度	8,624	2,766	2,367	864				14,621
H8年度	369	3,144	4,055			1,331		8,899
H9年度	4	271	55			164	96	590
H10年度	10,656	10	7,618	886		7,298	85	26,553
H11年度	167	1	223			65	77	533
H12年度	1,807	129	151			625	9	2,721
H13年度	16,104	340	3,389	55		1,011	197	21,096
H14年度	2,044	115	2,205	9	99	1,394	133	5,999
H15年度	2,428	74	2,710	10		1,559	137	6,917
累計	42,203	6,850	22,773	1,824	99	13,447	734	87,929

表2 浮魚礁における年度別推計漁獲金額（千円）

年度	カツオ	クロマグロ 幼魚	キハダ 幼魚	メバチ	ピンナガ	シイラ	その他	計
H7年度	1,930	2,440	670	130				5,170
H8年度	249	3,934	1,925			180		6,288
H9年度	5	382	23			16	106	532
H10年度	8,353	18	3,712	498		676	50	13,307
H11年度	40	2	117			5	24	188
H12年度	742	164	67			45	3	1,021
H13年度	8,712	584	1,176	21		69	28	10,590
H14年度	1,379	165	934	4	52	163	57	2,754
H15年度	1,688	191	1,357	4		183	58	3,481
累計	23,098	7,880	9,981	657	52	1,337	326	43,331